

第 82 回国際協同組合デーに向けた ICA メッセージ

「公正なグローバル化」をめざして：

すべての人へ機会を提供する

「公正なグローバル化」とは、人間を最優先すること。すなわち、その人々が有する権利、文化的独自性、地域社会の権限を尊重することです。国際協同組合デーを迎えるにあたり、規模の大小を問わず世界中の協同組合が、こうしたグローバル化を実現する存在として認知されなければなりません。

「グローバル化」はあらゆる人に影響を及ぼします。多くの人々に恩恵をもたらしたのは事実ですが、一方で、世界の大部分の人たちはその利点をいまだに実感していません。世界経済は今なお不公正であり、それは倫理的に認めがたく政治的にも持続可能なものではありません。

世界の指導者で構成される「グローバル化の社会的側面世界委員会」は、グローバル化がすべての人に等しく機能するための方策を探ってきました。世界共通の価値観、人権の尊重、そして個人の尊厳に基づく公正なグローバル化を通じて、経済的利益をもっと平等にシェアすべきであり、実際そうすることができる。それが委員会における基本的な考え方です。個人の尊厳とはきわめて包括的な民主主義の基本概念であり、あらゆる国や人に機会を提供し、目に見える恩恵をもたらします。

委員会は、グローバル化を進展させるうえで、協同組合が市民社会の他の関係者とともに果たすべき重要な役割を強調しています。特に強調するのは、以下の分野での協同組合の役割です。

対話とガバナンスの強化：協同組合は「民主主義の学校」として長く知られています。

経済能力の強化：協同組合は全世界の多くの産業部門でマーケットリーダーであるとともに、より効率的に経済機能を確保して、「市場の失敗」にも対応します。

地域経済基盤の確立：協同組合はまず地域ごとのニーズに対応することから始めますが、他の一部の企業と異なり、その後も地域社会への責任を果たし続けます。

企業の社会的責任の増大：協同組合は経済的価値と社会的価値を結びつけることにおいて、常に革新的な役割を果たしています。

人が中心　それが協同組合のすべてです。協同組合は人々が自ら努力し、経済的・社会的困難に立ち向かう機会を創出します。全世界で8億人以上がすでに協同組合の組合員となっています。協同組合は、グローバル化の象徴である多国籍企業よりも多くの男女を雇用しています。

また、協同組合は各地域社会のニーズに応えることはもちろんですが、世界的な連絡・協力体制も備えています。協同組合には国際的に合意した共通の原則と価値があります。民主的基盤、および経済的目標と社会的目標の両立という独自性ゆえに、協同組合はより公正なグローバル化を実現できる理想的立場にあります。これは協同組合が何世代にもわたって実践してきたことでもあります。

多くの点で、協同組合はより公正で人間らしいグローバル化を実現しています。例えば、地域社会を尊重しながらも、国境を越えた協同組合づくりにより、経済的には多国籍企業と競合しつつ、自らをグローバル化しています。フェアトレードの取り組みを行っている関係者の多くが、生産者協同組合であったり生協であったりと、協同組合が大きな役割を果たしており、小規模な生産者でも世界市場にアクセスすることができるようになっています。

ただ、協同組合がいかに国際的な規模で活動しようとも、その経済的・社会的利益は地域社会の組合員に還元されます。

グローバル化自体が必ずしも悪なのではありません。大切なのは、それをさらに公正なものにし、その恩恵をさらに広く行き渡らせることです。協同組合運動はいつでもその役割を果たす準備ができています。